

# 引き継ごう！船場の伝統を 伝えていこう！ お茶ができる幸せを



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪東支部  
船場青年部

寝屋川市萱島本町 14-22  
西川 まゆみ 方

ご挨拶  
部長 神藤 佳浩



本年度、船場青年部の部長を務めさせていただきました神藤佳浩です。ここまで、多くの皆さんのお力添えをいただいていたので、多くの方々に感謝申し上げます。本

さて、本年度は「引き継ごう！船場の伝統を伝える幸せを」をテーマに活動して参りました。メンバーの皆様が、一生懸命がんばって様々な成果を達成できたことは、部長として望外の幸であり



ます。これからも「お茶を愉しむ気持ち」と「他人を思いやり理解し合う敬の心」を大切に活動していきます。

また二十年の歴史を持つ船場青年部の最後の一年として、今までのすべての「船場のかわら版」を整理し、後世に引き継ぐべくデータ化を実施しました。船場青年部に関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。最後にになりましたが、平素よりお世話になって

おります、親先生はじめ諸先輩方に対して深く感謝申し上げますとともに、今後とも青年部活動へのご指導ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。本年度の御礼とさせていただきます。

温故知新

神藤佳浩

## 新春茶会

二月二十六日  
生國魂神社



新春茶会は、「お世話になっている親先生とOBの皆様をお招きし、青年部の今年度初めての茶会を新春の趣向で楽しんでいただくとともに、日ごろの感謝の気持ちを伝える」の目的で開催されました。

会員は、それぞれに初体験するお席や半東及び役割担当に緊張感や不安もありましたが、皆が助け合って協力をしあうことで達成感のある茶会でした。

このように無事に開催できたのは、日ごろの親先生や諸先輩方のご支援の賜物だと思いき感謝の気持ちです。



## 水無瀬神宮献茶式

四月五日  
水無瀬神宮



水無瀬神宮献茶式にて野点での薄茶席(副席)を船場・御堂青年部の合同で担当をさせていただきました。

この日の近畿地方は台風並みの「春の嵐」が過ぎ去り爽やかな晴天に恵まれた

## 夏季研修

六月三十日  
山田松香木堂



「日ごろより慣れ親しむ茶道具であるお香を実際に作成することで、香の作り方を学ぶ」を目的に、事業委員会の担当で山田松香木堂にて煉香作り体験を実施いたしました。

香原料の説明のあと香木の香りを嗅いで、好みで原料を調合して自分だけのオリジナル煉香を作成。

今回は自作の煉香を持ち帰り日本の香りや歴史を学ぶ良い機会になりました。



ものの、花冷えのする朝となりましたが、お客様に衣服を楽しんでいただけるようにと皆が心を一つにして臨むことが出来ました。

その上に、坐忘齋お家元様には副席にも御来席を賜わり青年部に励ましのお言葉をいただき、私たちに与りました素晴らしい経験になりました。